

# 第13回「精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会」

## つなげ・ひろがれ・ボールとともに！実施要領

### 1. 目的

精神障害のある人がスポーツを楽しみ、体力の維持・増進を図り、仲間とのふれあいを体験することによって、精神障害のある人の社会参加の促進と社会の障害者に対する理解の深化をはかるとともに、全国障害者スポーツ大会への参加意識向上に資することを目的とする。

### 2. 主催

和歌山県精神保健福祉協会

### 3. 共催

和歌山県作業療法士会

### 4. 後援

日本精神科看護技術協会和歌山県支部

### 5. 協賛

和歌山県精神科病院協会

### 6. 協力

和歌山県バレーボール協会 和歌山県障害者スポーツ指導者協議会 和歌山県障害者スポーツ協会

### 7. 開催日時

平成28年11月1日（火） 11：00～16：30

受付 11：00～11：30

開会式 11：30～12：00（挨拶・趣旨説明・競技説明）

競技 12：00～16：00

閉会式 16：00～16：30（挨拶・表彰式・閉会）

1位から4位までのチームそれぞれに表彰状及び副賞を授与する。

### 8. 開催場所

和歌山ビッグホエール 和歌山市手平2丁目1-1 TEL 073-433-0035

### 9. チーム及び選手

○選手は、精神障害者保健福祉手帳の所持者もしくはそれと同等の精神障害を有する者

○チーム編成は、男女混合による選手12名以内、役員（監督を含む）5名以内とする。

### 10. 競技規則

競技は別に定める競技規則に従って行う。

#### 11. 試合形式・組み合わせ

試合はリーグ戦またはトーナメント方式とし、組み合わせについては公平な立会人立会いのもと、抽選により決定する。

#### 12. 参加料

参加人数（選手及び役員）×50円（保険代に充当する。）

交通費と飲食費は各チームの負担とする。

#### 13. 安全管理・救護

選手及び役員については、主催者側で傷害保険に一括加入します。会場でのケガ等については応急処置のみとしますので、参加者の健康及び安全管理については参加者において十分留意してください。

#### 14. 参加申込み

別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、平成28年9月30日(金)までに、下記あてFAXまたは郵送してください。

【参加申込書の送付先】

〒640-8319

和歌山市手平2丁目1-2 和歌山県精神保健福祉センター内

和歌山県精神保健福祉協会事務局

TEL 073-435-5194

FAX 073-435-5193

和歌山県精神保健福祉協会 事務局あて

F A X 073-435-5193 (F A Xの場合は送信票不要です。)

## 第12回「精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会」 参加申込書

ふりがな チーム名		
参加人数		選手 名 役員 名
連絡先	住所	(〒 )
	TEL	
	FAX	
チーム申込責任者名		
責任者メールアドレス		

**※ 申込締切日 平成28年9月30日(金)**

# 「精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会」競技規則（ルール）

平成26年度改正

※規則は、「(公財)日本バレーボール協会競技規則(国際競技規則)6人制」「(公財)日本障害者スポーツ協会編・全国障害者スポーツ大会競技規則」を基準とし、一部和歌山県大会規則を設けます。

## 1. チームの編成及び選手の交代について

- ① チームは男女混合12名以内とし、試合中は女性プレイヤーが1名以上出場していなければなりません。
- ② 試合は6人制で行います。
- ③ 選手交代は1セットにつき6回まで行えます。2人以上の選手が同時に交代することもできます。
- ④ 交代選手は1セットにつき1回だけ交代し試合に出ることができます。再びベンチに下がる場合は、先に交代した選手とだけ代わることができます。
- ④ 選手交代は審判員の許可が必要です。監督またはキャプテンが主審に申し出てください。
- ⑤ 選手交代はコートライン上で入れ替わります。審判の指示に従ってください。

## 2. 試合形式について

- ① 得点はラリーポイント形式とします。
- ② 1セット15点、2セット先取で勝利とします。
- ③ ジュースになった場合は、先に17点をとったチームの勝利とします。
- ④ 3セット目は、8点でチェンジコートとします。

## 3. サービスについて

- ① サービスはエンドラインより前から打つことはできません。
- ② サービスを直接アタックもしくはブロックして返すことはできません。
- ③ サービスがネットに触って相手コートに入った場合もプレーを行います。
- ④ サービスは主審の合図に従って打ってください。
- ⑤ ①②の場合、または主審の合図の前にサービスが打たれた場合はノーカウントとしてもう一度サービスから始めます。
- ⑥ サービスを失敗したときは、相手チームに得点が入り、サービス権が相手チームにうつります。

## 4. 反則について

- ① 反則の判断は主審に従ってください。
- ② 以下の行為は反則となります。  
タッチネット・ダブルコンタクト(2度うち)・ホールディング(ボールをつかむ)  
パッシング・ザ・センターライン(足、手がセンターラインを超えて相手チームに入る)

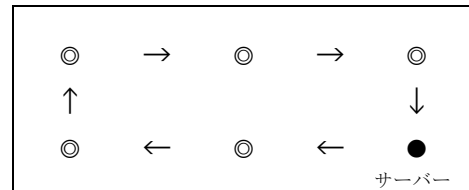
オーバーネット（ネットを越えて相手コートの領域にあるボールを打つ）

#### 5. タイムアウトについて

- ① 1セット中に2回（1回30秒、連続可）取ることができます。
- ② タイムアウトの間は、プレー中の選手はチームベンチ近くのフリーゾーンに出なければなりません。
- ② タイムアウトを取るときは、必ず監督またはキャプテンが主審に申し出てください。
- ③ 主審の指示があった場合は、速やかにプレーに戻ってください。

#### 6. ローテーションについて

- ① ローテーションは右の要領で行います。
- ② ローテーションは、サービスをする前に行います。
- ③ サーバーによりボールが打たれる瞬間まで、選手はそれぞれのコート内でローテーション順に位置していなければなりません。サービスが打たれた後は、どの位置に動き回っても構いません。



#### 7. ボールのプレーについて

- ① チームは返球のため、最大3回ボールに接触できます。ただし、ブロックでのボールへの接触は3回に含みません。
- ② バックプレイヤー3名は、アタックラインを踏んだり超えたりしてのアタックはできません。

#### 8. その他

- ① ポール（支柱）にあたった場合は、相手チームのポイントになります。
- ② 試合球はソフトバレーボール球・糸巻きタイプとし、主催者が用意します。  
（モルテン製ソフトバレーボールデラックス・糸巻き 円周77cm～79cm、重量200g～220g）
- ③ コートは、6人制のバレーボールコート（18m×9m）を使用します。アタックラインは引きます。
- ④ ネットの高さは2m24cmです。
- ⑤ ネットにはアンテナ、白帯をつけます。
- ⑥ 監督は「監督」であることがわかるようにプレート等を胸につけてください。
- ⑦ 選手は、服の胸部と背部のそれぞれ中央に、1から12までの番号をつけます。番号の大きさは15センチ以上とします。